

平成28年度第2回豊後大野市地域公共交通会議 及び 第2回豊後大野市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成29年1月27日（金）午後13：30～

場所：豊後大野市役所 5階 委員会室



I. 開会

事務局：それでは、平成28年度「第2回豊後大野市地域公共交通会議」と「第2回豊後大野市地域公共交通活性化協議会」を始めさせていただきます。

本日は最後まで宜しくお願いいたします。

まず、会長より挨拶を申し上げます。

II. 会長あいさつ

会長：豊後大野市副市長の赤嶺でございます。

本日は、ご多忙のところ、本協議会にご出席いただきありがとうございます。

さて、豊後大野市は、高齢化率40.9%、県下3位の高齢化率の高い自治体となっています。40年後の日本を先走っている地域であります。最近、高齢者の自動車事故の報道も良く聞くようになり、公共交通の問題は非常に重要であると改めて認識している次第でございます。

そうした中で、一昨年から実施している「大人の社会見学」事業は、今年も、大分大学と地元の三重総合高校にも協力いただき、評価をいただいているかと

思います。今日は大分大学の学生のみなさんからの発表もあるとのことですので、どうぞ宜しくお願いいたします。

これからも、豊後大野市公共交通の活性化へのご協力をお願いいたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。

今日は最後までよろしく申し上げます。

事務局： それではまず、大分大学の学生のみなさんからの発表に移りたいと思います。

Ⅲ. 大分大学経済学部経営システム学科大井ゼミ 3年生による発表

演題「地域コミュニティの強化がもたらす公共交通活性化—三重総合高校との連携—」



学 生：資料発表（省略）

事務局：ただ今の学生の発表について、何か質問やご意見などございますか。

羽田野誠委員代理：15スライド目の考察で、住民の方を3つのタイプに分類されていますが、この内容について、今後さらに深い研究がなされることを期待します。

久世委員：3点ありまして、6スライド目で、1年目の千歳では利用者が増加し、2年目の朝地では利用者が増加しなかったということで、地域特性の存在があるのでは、と考察されていますが、具体的に千歳と朝地の違いについて、もし分かるようでしたらお願いします。2点目は、8スライド目で清川のあいりタクシーが27.5%減少している要因について分かるようでしたらお願いします。3点目は、15スライド目で、住民の方を3つに分類されていますが、これ以外のタイプ

の方もいるかと思うのですが、いかがでしょうか。

大井委員：まずは本日、学生の発表の機会をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。
今の久世委員の質問への補足ですが、まず、千歳と朝地の違いについては、今日発表した学生は1年目のことを直接は知らないなので、回答は難しいかと思えます。それから、住民の方の3分類については、外出を控える傾向にある方に絞っての分類になりますので、宜しく願いいたします。

事務局：学生のみなさん、ありがとうございました。それでは、続きまして報告事項に移ります。

IV. 報告事項

①コミュニティバス、あいのりタクシーの運行状況等について

事務局：資料説明（省略）

会長：ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様からの質問等ございましたらお願いいたします。

亀井委員：利用状況について、平成26年度をピークに、コミュニティバスの方は右肩下がりで、あいのりタクシーについてはほぼ横ばいという感じかと思いますが、この動向についてどのように分析されていますでしょうか。

事務局：コミュニティバスの利用減少については、やはり人口減少が一番の要因ではないか、と分析しています。あいのりタクシーの方は、高齢化の進展で、バス停まで歩けなくなった人が、コミュニティバスからあいのりタクシーに移行している可能性もあるかと思えます。

亀井委員：そうしますと、今後、人口減少がさらに進んでいく中で、利用状況の指標としては、利用者数だけでなく、例えば、利用者満足度のようなものも見ていった方がよろしいのではないのでしょうか。

木下委員：私が住んでいる朝地では、90代の方でも免許更新しています。車が無ければ移動手段がない方がほとんどです。そのため、コミュニティバスの利用も伸びていないのかと思います。今後、免許返納に対応した何らかの施策など、ご検討を宜しくお願いします。

梶谷委員：免許の自主返納をされる方は、昨年11月以降増加傾向にあります。問題は、返納した後の移動手段がないことです。そのためにも、コミュニティバスの運行は維持していただきたいと思えます。3月の道路交通法改正で、免許更新の条件が厳しくなりますので、交通弱者の高齢者が今後増えてくることが予想されます。

会長：免許返納については、多くの高齢者の方が不安になっていらっしゃると思えます。市としても対策を考えていく必要はありますが、国策としても考えていくべき内容かと思えます。

V. 議題

①議案1 豊後大野市地域公共交通網形成計画について

事務局：議案1の説明（省略）

会長：ただいま事務局より説明がありましたが、こちらについて何か質問などございますか。

梶谷委員：免許返納の受け皿として、公共交通の割引や無料にするなどの施策があれば、自主返納をお勧めしやすいので、是非検討をお願いしたいと思います。そうした取組みがあれば、メディアなどの特集でも取り上げやすくなると思います。

事務局：無料にしますと、元々免許を持っていない方々から不公平感が出てくるかと思えますので、難しいかと思いますが、期間限定での割引など今後、警察とも連携しながら免許返納対策を考えたいと思います。具体的な内容については、平成29年度の予算との兼ね合いもございますので、未定です。

久世委員：4-32ですが、行政の補助はある程度仕方がない、そして路線バスの小型化の意見が多い、ということで、車両の小型化を行政の予算で進めるということなのでしょうか。小型化しても、人件費のコストは大きく変わらないと思いますが。

事務局：4-32の行政の補助のあり方と、今後の見直しについては、別々の設問となっております。小型化については、燃料費の部分で多少のコスト削減効果はあると思います。それから、小型化のメリットとしては、よりきめ細かなルート設定が可能となることも挙げられるかと思えます。

安部委員：大野竹田バスですが、小型化についてはいろいろ指摘されることもあります。しかし運用上、大型・中型のバスが必要な便もありますので、そのあたりはご理解いただきたいと思えます。車両の小型化は検討はしておりますが、予算の問題もあり、今後引き続き検討したいと思えます。

久世委員：車両の小型化については、事業者の経営判断として対応すべきかと思えます。市民の意見で変えるという書きぶりは、網形成計画としてはいかがかと思えます。

木下委員：車両の小型化を住民として要請するのは、細い道にも入ってもらって、自宅近くまで来てもらえるようになると考えるからです。

会長：財政的な対応が可能であれば、利用者の意見を聞いてサービス向上できればそれに越したことはありませんが、限りある予算の中で出来るだけの解決を探っていくしかないかと思えます。

木下委員：朝地地区で道路改良をして道幅を広くしてバスの運行を要望されている地区があります。改めてバスの運行について検討をお願いしたいと思います。

久世委員：そういう住民の要望があるのであれば、きめ細かな枝線の運行という文脈の中で、車両の小型化について記載することが考えられるかと思えます。

亀井委員：地域公共交通をいかに持続可能にするかが重要かと思いますが、その際、2-16で病院送迎が多く運行されている、一方で4-25で目的地の一番が病院であるとする、例えば複数の病院でバスを共同運行するようなことが考えられないか、と思うのですが、そのような事例は他地域でご存じないでしょうか。

事務局：病院側の事情もありますし、他地域でヒアリングしたこともあります。なかなか共同運行というのは難しい状況かと思えます。

大井委員：大分市の事例ですが、バスで来院された方を、帰りのバスの時間に間に合わせるように、診察時間の調整をされている病院があるということです。

それから小型化についての議論ですが、やはり家の前まで来てほしいというニーズだと思いますが、そうなってくると、もう歩くことも難しい方が対象なのではないかと思われまので、それは福祉での対応も検討する必要があるかと考えます。

健康のために歩いてバス停まで来てバスに乗る、ということをお勧めするキャンペーンなども有効なのではないかと思えます。

久世委員：最後に、免許返納について、返納すると外出が不自由になるという不安感が大きいものと考えます。予算の問題があることを承知で申し上げますと、例えば月に1回でも無料のタクシー券を配布するような施策なども考えられないかと思えます。

会長：他に何かありますか。それではないようでしたら、この議案についてご承認いただけます方は拍手をお願いいたします。

一同：拍手多数

会長：それでは、拍手多数ということでご承認いただきました。次の議案に移りたいと思えます。

②議案2 コミュニティバス優良乗務員及びバス停コンテスト表彰について

事務局：資料説明（省略）

会長：ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様からの質問等ございましたらお願いいたします。これは、規程で利用の多いバス停は上位3つ、何回でも表彰可能、乗務員は二人まで、と定められているということです。

皆さまよろしいですか。それではこの議案についてご承認いただけます方は拍手をお願いいたします。

一同：拍手多数

会長：それでは、拍手多数ということでご承認いただきました。その他何かございますか。

VI. その他

大井委員：今年度の大人の社会見学の事業ですが、文部科学省の「知の拠点」事業の学生プロジェクトとして採択していただき、その予算支援もいただいて実施しましたことをご報告いたします。

事務局：事務局から最後に2点、次回の協議会は2月下旬～3月上旬にかけて開催する予定ですので、また宜しく願いいたします。それから、謝金のある方につきましてはマイナンバー登録の書類が必要となりますので、合わせてご確認のほど、宜しく願いいたします。

VII. 閉会

事務局：以上を持ちまして本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございます。

以上

平成 28 年度第 2 回「豊後大野市地域公共交通会議」

「豊後大野市地域公共交通活性化協議会」

委員出欠名簿

(以下敬称略、順不同)

	氏 名	所 属 等	出欠	代理出席者	
				職 名	氏 名
委員	赤嶺 謙二	行政機関（市） 豊後大野市副市長	○		
委員	衛藤 孝典	住民代表 豊後大野市自治会連合会長	○		
委員	木下 孝行	豊後大野市コミュニティバス関係者 豊後大野市コミュニティバス運営協議会長	○		
委員	芦刈 憲司	地元経済団体 豊後大野市商工会長	欠		
委員	今仁 淳一	行政機関（県） 大分県豊肥振興局地域振興部長	○		
委員	亀井 敏和	行政機関（県） 大分県豊後大野土木事務所長	○		
委員	谷 雅英	行政機関（警察） 大分県豊後大野警察署交通課長	代理		梶谷 征広
委員	児玉 吉充	鉄道事業者 JR九州(株)大分支社 総務企画課運輸担当課長	欠		
委員	脇 紀昭	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県バス協会専務理事	○		
委員	漢 二美	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県タクシー協会会長	○		
委員	安部 隆志	一般旅客自動車運送事業者 大野竹田バス(株)代表取締役	○		
委員	神品 雄一	一般旅客自動車運送事業者 豊後大野市タクシー協会会長	○		
委員	大島 幸生	運転手が組織する団体 大野竹田バス乗務員代表	○		
委員	渡海 一成	運転手が組織する団体 豊後大野市タクシー協会乗務員代表	代理		日坂 泰弘
委員	大井 尚司	学識経験者 大分大学経済学部経営システム科准教授	○		
委員	下郡 譲治	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	○		
委員	久世 和彦	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	○	(随行) 運輸企画専門官	西山 淳
委員	足立 哲啓	行政機関（市）公共交通担当 豊後大野市まちづくり推進課長	○		
委員	加藤 郁	行政機関（市）福祉有償運送担当 豊後大野市社会福祉課長	代理	課長補佐	羽田野 誠
委員	足立 建士	行政機関（市）高齢者福祉担当 豊後大野市高齢者福祉課長	○		
委員	羽田野房徳	行政機関（市）市道管理者 豊後大野市建設課長	○		
委員	真部 直廣	行政機関（市）スクールバス担当 豊後大野市教育委員会教育総務課長	代理	副主幹	三宮 仁